

平成30年2月1日

日本原子力発電㈱

漂流物に係る検討について

1. 検討方針について

東海第二発電所は、津波の遡上水位が高いことや流速が速いことなどから、漂流物荷重については、数値実験シミュレーションに基づき評価し、防潮堤の健全性を確認することとする。また、数値実験シミュレーション結果を踏まえ、緩衝部材の要否についても検討する。

図-1 に検討フローを示す。

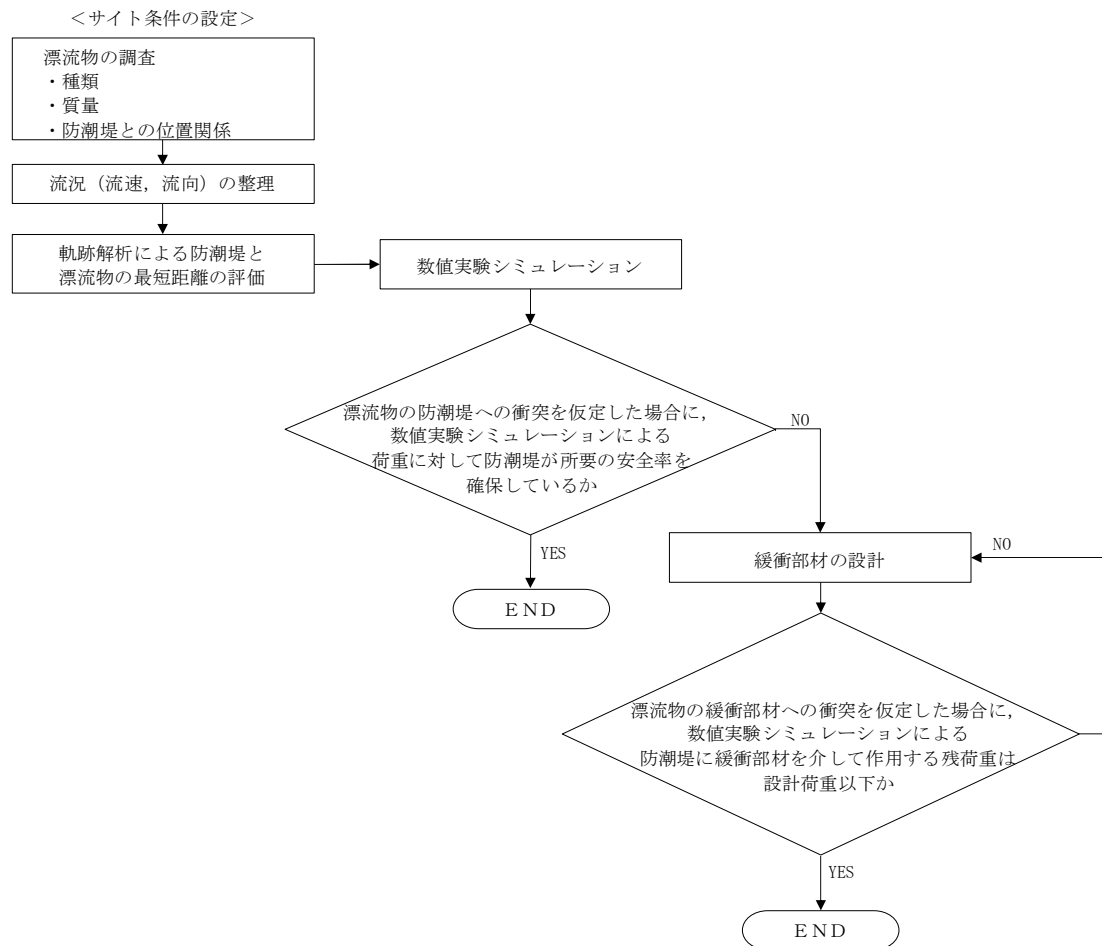


図-1 漂流物に関する検討フロー

2. 緩衝部材について

防潮堤前面に緩衝部材を設置し、漂流物の衝突を仮定した際に、そのエネルギーを吸収することで、防潮堤への影響を低減するものである。図-2に緩衝部材の概要図を示し、図-3に緩衝部材の構造図を示す。

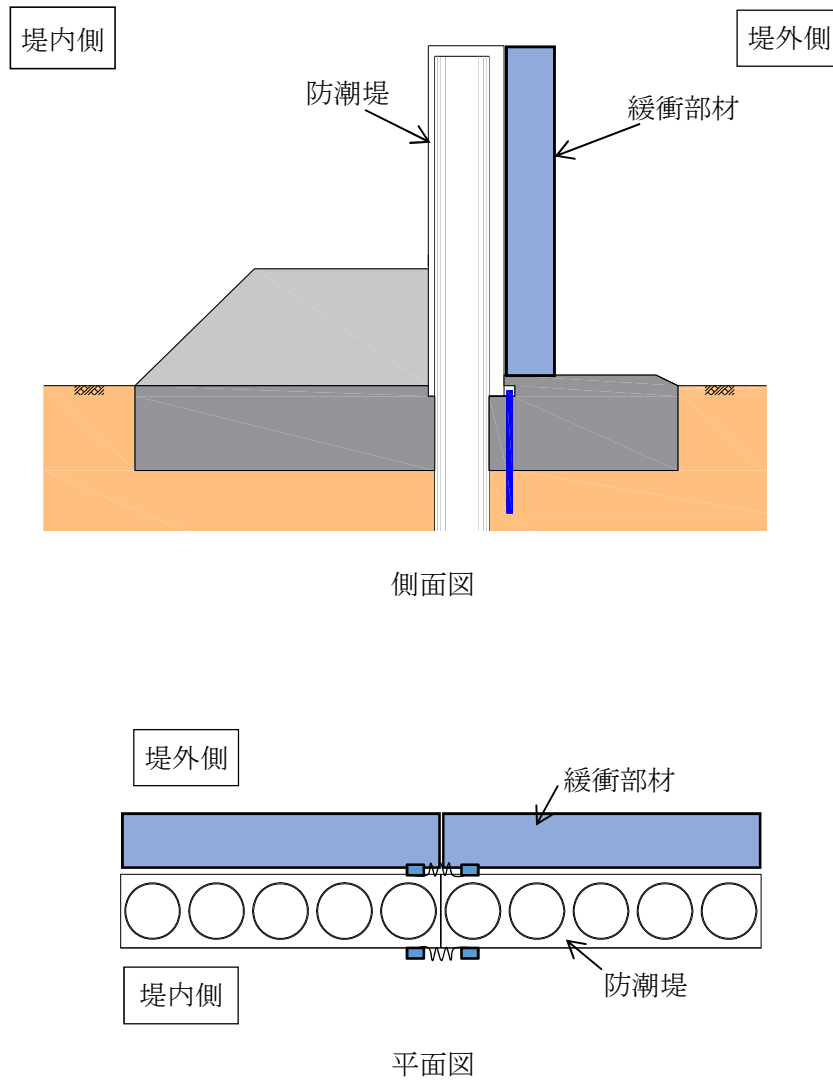


図-2 緩衝部材の概要図

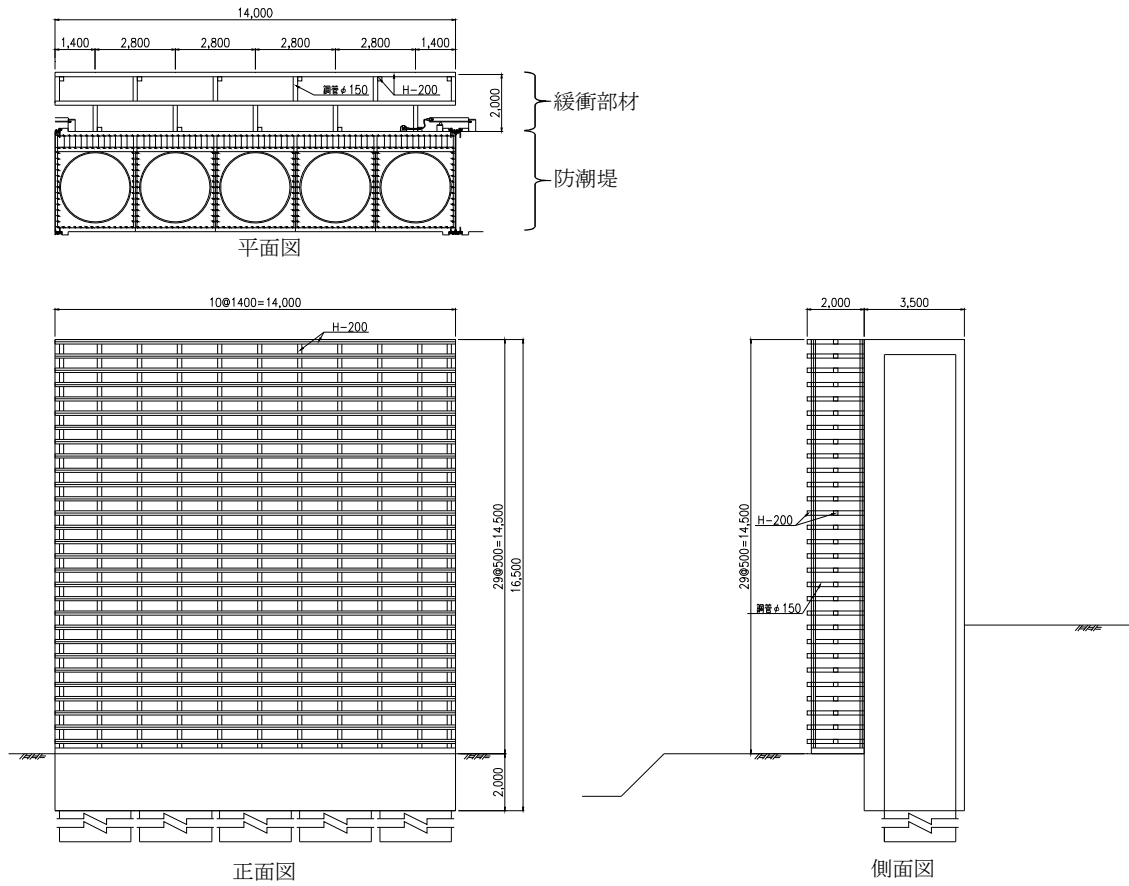


図-3 緩衝部材の構造図（イメージ）

3. 検討スケジュール

漂流物に係る検討スケジュールを表-1に示す。

表-1 漂流物に係る検討スケジュール

検討項目	2月		3月				備考
サイト条件の整理	▽漂流物の種類及び位置の整理						
	▽流況の整理						
	▽漂流物軌跡解析						
緩衝部材の設計	▽設計						
	▽数値実験シミュレーション						

以上